

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされました。2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができる、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

新人職員に聞いてみた

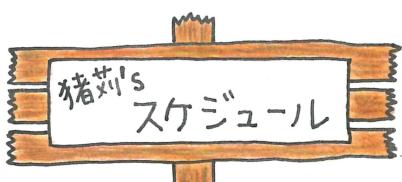
その③

こんにちは！
今日は住民課の新人職員、猪薙伊康さんを紹介します！猪薙さんは相馬市出身の24歳。震災発生時は中学2年生で部活中でした。高台にあった学校から、実家があつた地域が津波にのまれていくのを見たそうです。

「何が起きているのか分からなかった」と振り返ります。

大学進学で県外に出ましたが「震災後、ずっと支えてくれた」という両親への恩返しの気持ちもありJターンを希望、「復興の力になれば」と大熊町を就職先に選びました。

大川原の印象は「きれいに整備されていて、正直すごいと思った。復興に向けて動いているなと感じた」とのこと♪「仕事はまだ覚えることはあります」と「1つ年上の先輩が今の目標です」



- 6:00 起床 ☀
- 7:00 出勤 🚗
- 8:00 業務開始
- 12:00 手作り弁当でひと息 🍽️
- 19:00 退庁 退出
- 20:00 帰宅 ↑
- 24:00 就寝 😴

大川原までの通勤事情

毎日相馬市から50分かけて通勤している猪薙さん。
車通勤も徐々に慣れてきたそうですが、「常磐道、早く2車線になるといいな」と本音もチラリ。交通量がタタクスムーズに進まないのだとか。業務終了後、ますます家に向かいますが着くのは早くて20時、遅いときは21時を過ぎることも。バレーボールが趣味で体力には自信があるとのことです。
それでも毎日の通勤は「正直つらい」と町内への移住も狙っています。

猪薙さんが目標とする
先輩からメッセージ!!

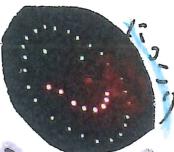
がむしゃらにガンバレー！





10月2日午後6時、
コロナ禍の収束を願い
打ち上げ花火200発

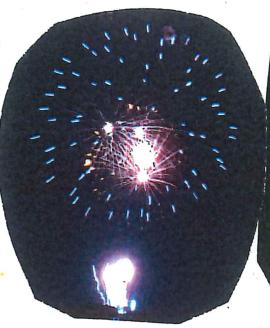
大川原の夜を彩りました。
子どもとコロナで中止となたなつ祭りで



花火、上がったよ。



盛を避けてのサプライズ
でした。来年は、
みんなで楽しめる
よう、祈りを込めて。



のペットたち。こんにちは！南場です！大川原のペット特集コーナーを作りました。皆様の愛する自慢のペット達の可愛さを最大限に紹介できるよう燃えております！不定期でシリーズ化を目指します！

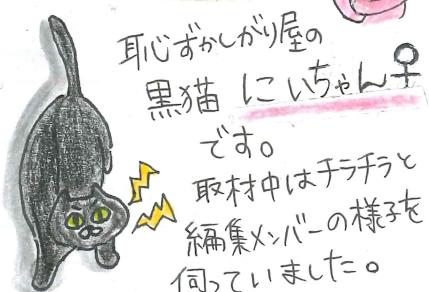
この子たちはみんな
仮設住宅時代の野良猫や
捨て猫の子どもたち
なんだよ…



「福島」と
「復興から
名前を
つけまし!」



もう1匹、黒猫がいます！
くろくんと
いた目が



取材中はチラチラと
編集メンバーの様子を
伺っていました。